

地元企業景気動向調査

ー令和8年1～3月実績および令和8年4～6月見通しー
【特別調査・・・中小企業経営者のライフデザイン】

令和8年3月



福島信用金庫

◆ ◆ ◆ 目 次 ◆ ◆ ◆

1.概 況	2
2.業 種 別	4
3.特 別 調 査「中小企業経営者のライフデザイン」	7
4.資 料	
資料1「設備投資と借入の動向」	9
資料2「原材料・仕入価格実績DIと販売・請負価格実績DI」 「経営上の問題点と当面の重点施策」	10
資料3「業種別主要DIの推移」	11
資料4 特別調査 集計結果表	15

◆ ◆ ◆ 調査概要 ◆ ◆ ◆

- 調査地域: 当金庫本支店所在地(県北地域)
- 調査時点: 令和8年3月2日～令和8年3月6日
- 調査内容: 令和7年10～12月期と比べた令和8年1～3月期の実績
 令和8年1～3月期と比べた令和8年4～6月期の見通し
- 調査方法: 当金庫取引先へのアンケート聴き取りおよび留め置き調査
- 調査対象: 当金庫取引先中小企業

	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率
製 造 業	73	67	91.8%
卸 売 業	25	22	88.0%
小 売 業	52	46	88.5%
サ ー ビ ス 業	40	37	92.5%
建 設 業	55	53	96.4%
不 動 産 業	18	16	88.9%
運 輸 業	17	17	100.0%
総 数	280	258	92.1%

分析方法: 各質問事項で「増加(上昇)」したとする企業が全体に占める
構成比と、「減少(下降)」したとする企業の構成比の差(判断DI)
を中心に分析

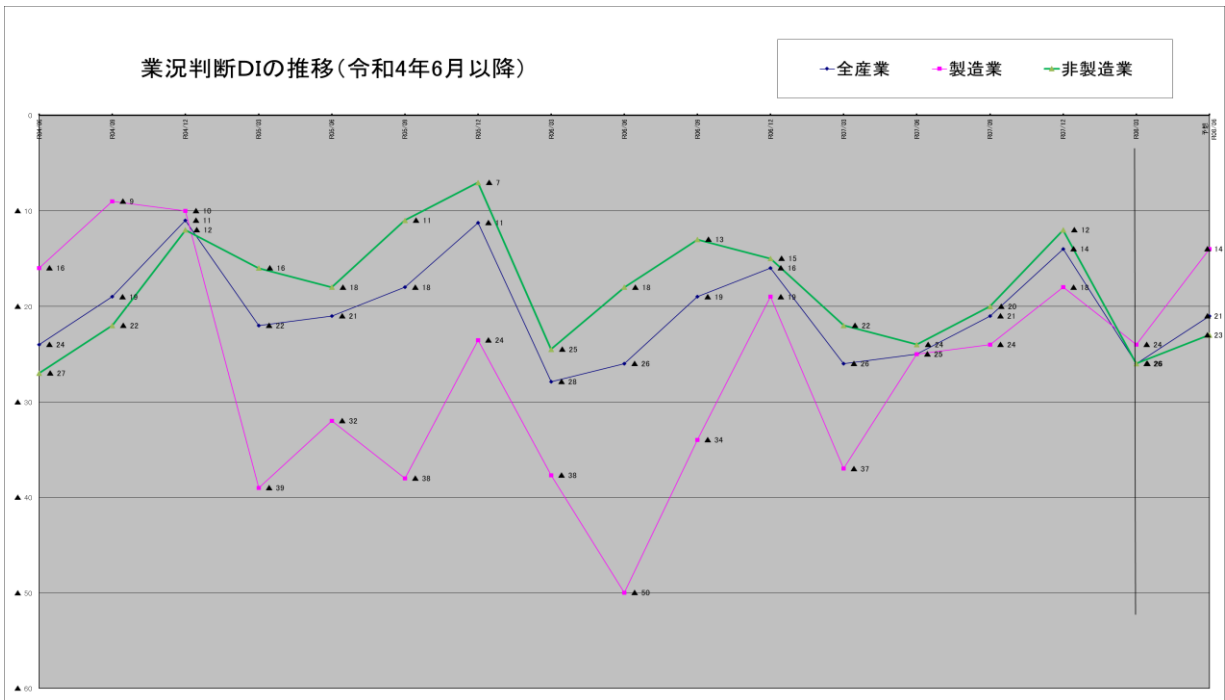
※ DI(Diffusion Index)＝「良い・やや良い割合」―「悪い・やや悪い割合」

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。記載の意見や予測は、いかなる契約の締結
や解約を勧誘するものではありません。
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が
その正確性および完全性を保証するものではありません。

◆◆◆概況◆◆◆

○当地区(福島市、伊達市、伊達郡)における令和8年3月期の中小企業の景気動向を調査(対象取引先:280社)した結果、業況判断DIは全産業で▲26ポイントとなり、前回調査結果(▲14)より12ポイント後退し、3月期の予想(▲20)を6ポイント下回った。

業種別では、小売業の横ばい推移を除き、6業種で後退と、全体的に厳しい業況がうかがえる結果であった。



業況判断		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
全産業	良い	21.7	16.4	15.3	17.0	20.7	16.5	15.2	15.4	19.7	13.2	15.0
	悪い	-33.0	-44.2	-41.8	-35.9	-36.8	-42.5	-39.7	-36.5	-33.5	-38.8	-35.8
	DI	▲ 11	▲ 28	▲ 26	▲ 19	▲ 16	▲ 26	▲ 25	▲ 21	▲ 14	▲ 26	▲ 21
製造業	良い	22.1	14.5	11.1	11.4	21.4	18.3	20.6	16.9	25.0	19.4	21.2
	悪い	-45.6	-52.2	-61.1	-45.7	-40.0	-54.9	-45.6	-40.8	-42.6	-43.3	-34.8
	DI	▲ 24	▲ 38	▲ 50	▲ 34	▲ 19	▲ 37	▲ 25	▲ 24	▲ 18	▲ 24	▲ 14
卸売業	良い	26.1	8.3	13.0	13.0	21.7	9.1	4.5	22.7	15.0	9.1	14.3
	悪い	-30.4	-50.0	-39.1	-47.8	-26.1	-40.9	-31.8	-27.3	-30.0	-31.8	-28.6
	DI	▲ 4	▲ 42	▲ 26	▲ 35	▲ 4	▲ 32	▲ 27	▲ 5	▲ 15	▲ 23	▲ 14
小売業	良い	22.0	18.0	22.0	21.7	23.4	17.8	17.4	14.9	10.9	8.7	11.1
	悪い	-26.0	-38.0	-30.0	-37.0	-34.0	-26.7	-34.8	-31.9	-37.0	-34.8	-42.2
	DI	▲ 4	▲ 20	▲ 8	▲ 15	▲ 11	▲ 9	▲ 17	▲ 17	▲ 26	▲ 26	▲ 31
サービス業	良い	22.5	20.0	17.9	13.2	10.8	8.3	7.7	12.8	11.4	10.8	8.1
	悪い	-30.0	-27.5	-33.3	-26.3	-40.5	-52.8	-43.6	-28.2	-31.4	-43.2	-35.1
	DI	▲ 8	▲ 8	▲ 15	▲ 13	▲ 30	▲ 44	▲ 36	▲ 15	▲ 20	▲ 32	▲ 27
建設業	良い	26.4	18.9	9.4	19.2	23.5	18.5	20.4	15.1	25.5	17.0	15.4
	悪い	-26.4	-50.9	-35.8	-25.0	-37.3	-35.2	-44.9	-54.7	-31.4	-39.6	-44.2
	DI	0	▲ 32	▲ 26	▲ 6	▲ 14	▲ 17	▲ 24	▲ 40	▲ 6	▲ 23	▲ 29
不動産業	良い	12.5	31.3	26.7	21.4	18.8	23.5	17.6	17.6	17.6	0.0	12.5
	悪い	-12.5	-31.3	-26.7	-28.6	-37.5	-29.4	-17.6	-11.8	-11.8	-18.8	-18.8
	DI	0	0	0	▲ 7	▲ 19	▲ 6	0	6	6	▲ 19	▲ 6
運輸業	良い	5.9	0.0	18.8	31.3	23.5	18.8	0.0	5.9	29.4	11.8	17.6
	悪い	-52.9	-52.9	-50.0	-37.5	-35.3	-50.0	-37.5	-29.4	-23.5	-47.1	-23.5
	DI	▲ 47	▲ 53	▲ 31	▲ 6	▲ 12	▲ 31	▲ 38	▲ 24	6	▲ 35	▲ 6
(非製造業)	良い	21.6	17.0	16.8	19.0	20.4	15.8	13.2	14.9	17.7	11.0	12.8
	悪い	-28.6	-41.5	-34.7	-32.3	-35.6	-37.9	-37.6	-34.9	-30.1	-37.2	-36.2
	DI	▲ 7	▲ 25	▲ 18	▲ 13	▲ 15	▲ 22	▲ 24	▲ 20	▲ 12	▲ 26	▲ 23

仕入価格判断		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
全産業	上昇	61.4	57.2	62.7	64.6	61.6	65.6	59.1	54.1	62.0	55.4	51.8
	下降	-3.7	-3.7	-2.6	-1.9	-1.5	-3.4	-5.1	-3.8	-4.7	-3.1	-3.5
	DI	58	54	60	63	60	62	54	50	57	52	48
製造業	上昇	57.4	53.6	66.7	65.7	59.2	54.9	54.4	50.7	60.3	58.2	49.3
	下降	0.0	-4.3	-1.4	0.0	-4.2	-4.2	-2.9	-4.2	-1.5	-1.5	-3.0
	DI	57	49	65	66	55	51	51	46	59	57	46
卸売業	上昇	52.2	41.7	34.8	69.6	65.2	63.6	45.5	63.6	66.7	54.5	66.7
	下降	-13.0	-8.3	-4.3	0.0	0.0	0.0	-9.1	-4.5	-4.8	0.0	0.0
	DI	39	33	30	70	65	64	36	59	62	55	67
小売業	上昇	68.0	64.0	68.0	60.9	66.0	73.9	54.3	59.6	58.7	54.3	50.0
	下降	-6.0	-2.0	-6.0	-2.2	0.0	-4.3	-10.9	-4.3	-8.7	-4.3	-6.5
	DI	62	62	62	59	66	70	43	55	50	50	43
サービス業	上昇	55.0	57.5	66.7	71.1	73.7	72.2	71.8	64.1	80.0	62.2	59.5
	下降	-5.0	-7.5	-2.6	-2.6	0.0	-2.8	-2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	DI	50	50	64	68	74	69	69	64	80	62	59
建設業	上昇	73.6	66.0	71.7	73.1	64.7	72.2	71.4	52.8	70.6	58.5	58.5
	下降	0.0	0.0	0.0	-1.9	0.0	-1.9	0.0	-5.7	0.0	-1.9	-1.9
	DI	74	66	72	71	65	70	71	47	71	57	57
不動産業	上昇	43.8	43.8	26.7	21.4	25.0	35.3	29.4	17.6	17.6	25.0	25.0
	下降	-6.3	0.0	0.0	-14.3	-6.3	-11.8	-11.8	0.0	-5.9	0.0	0.0
	DI	38	44	27	7	19	24	18	18	12	25	25
運輸業	上昇	64.7	58.8	62.5	58.8	52.9	87.5	75.0	58.8	52.9	52.9	35.3
	下降	-5.9	-5.9	-6.3	0.0	0.0	0.0	-6.3	-5.9	-29.4	-23.5	-17.6
	DI	59	53	56	59	53	88	69	53	24	29	18
(非製造業)	上昇	62.8	58.5	61.2	64.2	62.5	69.6	60.8	55.4	62.6	54.5	52.6
	下降	-5.0	-3.5	-3.1	-2.6	-0.5	-3.1	-5.8	-3.6	-5.9	-3.7	-3.7
	DI	58	55	58	62	62	66	55	52	57	51	49

○仕入価格判断は全産業で+52ポイントとなり、前回調査(+57)からやや低下したものの、引き続き高水準で推移しており、多数の事業者が物価上昇を実感している状況である。原材料価格の上昇が落ち着き、価格改定も一巡したことで、DI値は前回から低下がみられたものの、年明け以降、最低賃金の引き上げや中東情勢の緊迫化による原油価格上昇といった間接コストの増加がDI値の押し下げをとどめた要因として考えられる。

在庫判断		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
全産業	過剰	13.4	12.3	9.9	8.3	10.6	7.2	9.4	8.6	9.0	7.4	7.4
	不足	-8.6	-6.6	-5.2	-7.4	-4.8	-11.1	-7.4	-6.2	-8.0	-4.9	-5.4
	DI	5	6	5	1	6	▲4	2	2	1	2	2
製造業	過剰	11.9	14.5	13.9	14.3	15.5	11.4	11.6	9.9	11.8	14.9	9.0
	不足	-6.0	-1.4	-2.8	-1.4	-1.4	-10.0	-7.2	-4.2	-5.9	-4.5	-9.0
	DI	6	13	11	13	14	1	4	6	6	10	0
卸売業	過剰	26.1	12.5	17.4	13.0	17.4	9.1	9.1	0.0	9.5	0.0	0.0
	不足	-4.3	-4.2	0.0	0.0	0.0	-4.5	-9.1	-4.5	-4.8	-4.5	0.0
	DI	22	8	17	13	17	5	0	▲5	5	▲5	0
小売業	過剰	16.0	8.0	10.0	6.5	6.4	6.5	10.9	6.4	6.5	2.2	4.3
	不足	-12.0	-14.0	-4.0	-10.9	-10.6	-10.9	-8.7	-8.5	-10.9	-4.3	-4.3
	DI	4	▲6	6	▲4	▲4	▲4	2	▲2	▲4	▲2	0
サービス業	過剰											
	不足											
	DI											
建設業	過剰	7.5	11.5	1.9	2.0	2.0	3.8	6.3	5.8	4.1	3.8	9.6
	不足	-7.5	-1.9	-5.8	-7.8	-2.0	-9.6	-6.3	-9.6	-6.1	-5.8	-3.8
	DI	0	10	▲4	▲6	0	▲6	0	▲4	▲2	▲2	6
不動産業	過剰	12.5	18.8	6.7	0.0	18.8	0.0	5.9	29.4	17.6	12.5	12.5
	不足	-18.8	-25.0	-26.7	-35.7	-18.8	-29.4	-5.9	0.0	-17.6	-6.3	-6.3
	DI	▲6	▲6	▲20	▲36	0	▲29	0	29	0	6	6
運輸業	過剰											
	不足											
	DI											
(非製造業)	過剰	14.1	11.3	7.9	5.2	8.1	5.1	8.3	8.0	7.5	3.7	6.7
	不足	-9.9	-9.2	-6.4	-10.4	-6.6	-11.7	-7.5	-7.2	-9.0	-5.1	-3.7
	DI	4	2	1	▲5	1	▲7	1	1	▲2	▲1	3

○在庫判断は全産業で+2ポイントとなり、前回調査(+1)からわずかに上昇したものの、全体としては過剰でも不足でもなく、概ね適正な水準であることがうかがえる。業種別でみると、製造業や不動産業においては需要の低迷を背景に、在庫が滞留していると考えられる。また、卸売や小売などでは先行きの不透明感や年度末の季節要因など在庫抑制がうかがえる結果であった。

人手判断		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
全産業	過剰	4.9	7.5	8.6	4.7	7.3	7.3	8.9	7.5	5.1	6.6	6.3
	不足	-41.2	-37.3	-33.3	-36.4	-37.8	-36.9	-33.5	-33.2	-38.6	-30.4	-32.5
	DI	▲ 36	▲ 30	▲ 25	▲ 32	▲ 31	▲ 30	▲ 25	▲ 26	▲ 33	▲ 24	▲ 26
製造業	過剰	4.4	10.1	15.5	10.0	14.1	15.5	14.5	14.1	11.8	10.4	10.4
	不足	-38.2	-34.8	-28.2	-31.4	-36.6	-35.2	-29.0	-35.2	-41.2	-37.3	-35.8
	DI	▲ 34	▲ 25	▲ 13	▲ 21	▲ 23	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 29	▲ 27	▲ 25
卸売業	過剰	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.8
	不足	-26.1	-25.0	-8.7	-13.0	-26.1	-22.7	-18.2	-27.3	-23.8	-9.1	-9.5
	DI	▲ 26	▲ 25	▲ 4	▲ 13	▲ 26	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 24	▲ 5	▲ 5
小売業	過剰	6.0	6.0	6.0	4.3	6.4	4.3	6.5	2.1	2.2	6.5	4.3
	不足	-40.0	-40.0	-28.0	-30.4	-27.7	-26.1	-26.1	-34.0	-28.3	-21.7	-26.1
	DI	▲ 34	▲ 34	▲ 22	▲ 26	▲ 21	▲ 22	▲ 20	▲ 32	▲ 26	▲ 15	▲ 22
サービス業	過剰	7.5	10.0	7.7	5.6	8.1	5.7	13.2	10.5	8.8	5.6	8.3
	不足	-42.5	-42.5	-41.0	-44.4	-35.1	-37.1	-34.2	-26.3	-44.1	-30.6	-33.3
	DI	▲ 35	▲ 33	▲ 33	▲ 39	▲ 27	▲ 31	▲ 21	▲ 16	▲ 35	▲ 25	▲ 25
建設業	過剰	7.5	9.6	5.7	1.9	3.9	3.8	8.2	7.5	2.0	5.7	5.7
	不足	-56.6	-44.2	-47.2	-48.1	-47.1	-50.9	-46.9	-32.1	-41.2	-35.8	-34.0
	DI	▲ 49	▲ 35	▲ 42	▲ 46	▲ 43	▲ 47	▲ 39	▲ 25	▲ 39	▲ 30	▲ 28
不動産業	過剰	0.0	0.0	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	不足	-18.8	-18.8	-20.0	-28.6	-18.8	-17.6	-29.4	-23.5	-23.5	-25.0	-25.0
	DI	▲ 19	▲ 19	▲ 13	▲ 29	▲ 13	▲ 18	▲ 24	▲ 18	▲ 24	▲ 25	▲ 25
運輸業	過剰	0.0	5.9	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	不足	-47.1	-41.2	-56.3	-58.8	-82.4	-68.8	-56.3	-58.8	-70.6	-41.2	-68.8
	DI	▲ 47	▲ 35	▲ 50	▲ 59	▲ 82	▲ 56	▲ 56	▲ 59	▲ 71	▲ 35	▲ 69
(非製造業)	過剰	5.0	6.5	6.1	2.7	4.7	4.2	6.9	5.2	2.7	5.3	4.8
	不足	-42.2	-38.2	-35.2	-38.3	-38.2	-37.6	-35.1	-32.5	-37.6	-27.9	-31.4
	DI	▲ 37	▲ 32	▲ 29	▲ 36	▲ 34	▲ 33	▲ 28	▲ 27	▲ 35	▲ 23	▲ 27

○人手判断は全産業で▲24ポイントとなり、前回調査時(▲33)から9ポイント改善した。業種ごとに改善幅に差はあるものの、不動産業を除く6業種で改善となった。実際に人員の採用が進んだわけではなく、景況感の悪化に伴う業務量の減少や、発注・生産調整による稼働の低下など必要人員が一時的に減少した結果と考えられる。構造的な人手不足は続いており、今後の動向には注力が必要である。

◆ ◆ ◆ 業種別 ◆ ◆ ◆

【製造業】

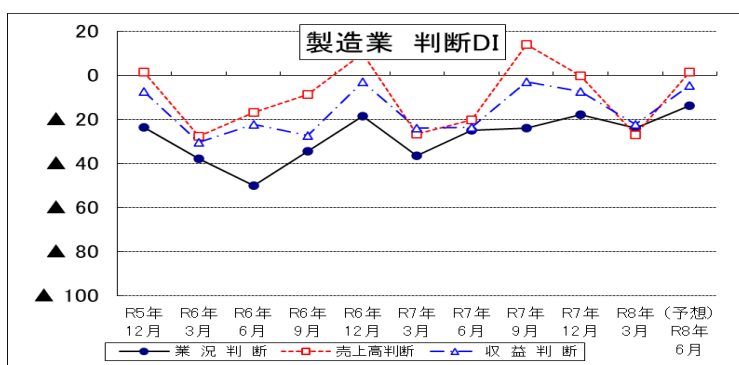
製造業の業況判断DIは▲24ポイントとなり、前回調査(▲18)から後退した。売上高判断及び収益判断もともに大きく後退しており、最終需要の弱さや在庫調整など川下の動向を強く受けた結果が見られた。

中分類別にみると、食料品や衣類製品製造など生活関連分野では、節約に伴う消費の低迷などの影響により、厳しい事業者が多く見られた。

素材関連分野では、一部で持ち直しの動きがみられるものの、最終需要の動向に左右される側面強く、改善は限定的にとどまっている。

機械関連分野では、業種ごとばらつきが見られるものの、省エネ・省力化投資などに下支えされ、大きな落ち込みには至っていない。

全体として、下請け構造の影響を受けやすく、最終需要の弱さが波及する形で厳しい状況が続く結果であった。



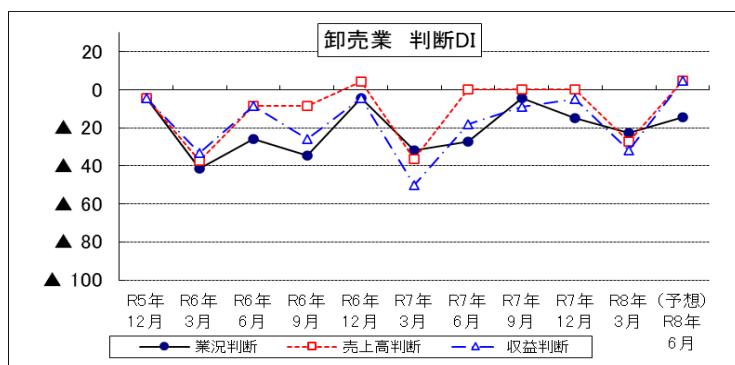
製造業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	▲ 24	▲ 38	▲ 50	▲ 34	▲ 19	▲ 37	▲ 25	▲ 24	▲ 18	▲ 24	▲ 14
売上高判断	1	▲ 28	▲ 17	▲ 9	10	▲ 27	▲ 20	14	0	▲ 27	1
収益判断	▲ 7	▲ 30	▲ 22	▲ 27	▲ 3	▲ 24	▲ 24	▲ 3	▲ 7	▲ 22	▲ 4

【卸売業】

卸売業の業況判断DIは▲23ポイントとなり、前回調査(▲15)から後退した。売上高判断、収益判断もともに大きく後退しており、消費の低迷や在庫圧縮の動きを受け、厳しい状況がうかがえる。

中分類別でみると、食料・飲料卸売(▲29→▲25)では地元小売店などへの一定の需要に支えられ、下げ止まりの動きがみられている。一方で、農畜産物・水産物卸売(+20→±0)では、外食需要の減少や季節的要因などにより後退が見られた。

全体として、サプライチェーンとの結び付きが強い業種であることから、地域経済全体の停滞が業況に直接反映される、厳しい結果となっている。

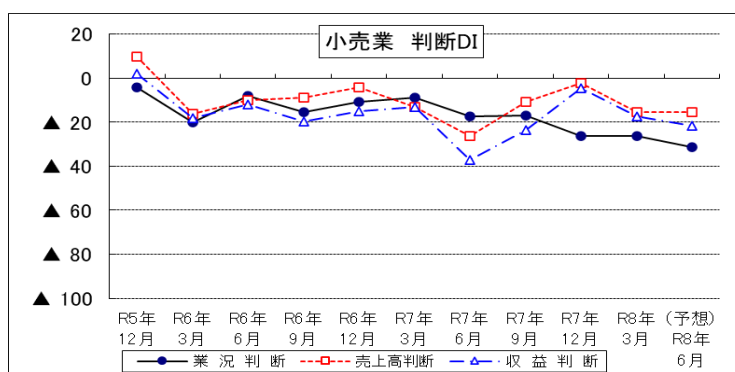


卸売業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	▲4	▲42	▲26	▲35	▲4	▲32	▲27	▲5	▲15	▲23	▲14
売上高判断	▲4	▲38	▲9	▲9	4	▲36	0	0	0	▲27	5
収益判断	▲4	▲33	▲9	▲26	▲4	▲50	▲18	▲9	▲5	▲32	5

【小売業】

小売業の業況判断DIは▲26ポイントと前回同水準で推移した。一方、売上高判断及び収益判断はともに後退しており、利益の圧迫がうかがえる結果であった。

中分類別でみると、飲食料品(±0→▲20)で後退した一方、衣類・身のまわり品(▲33→±0)、燃料(▲57→▲43)、自動車・自転車(±0→33)では改善が見られた。物価高の影響を受ける中で、飲食料品など日常的な支出が抑制される傾向が見られる一方で、自動車や燃料など季節的需要に支えられる分野では一定の動きが見られた。また、福島市街地周辺は美術館のイベント開催の影響など、一部店舗で来客増加が見られ、局地的な需要回復も見られた。更に今後についてはDCを期待するといった声もあった。



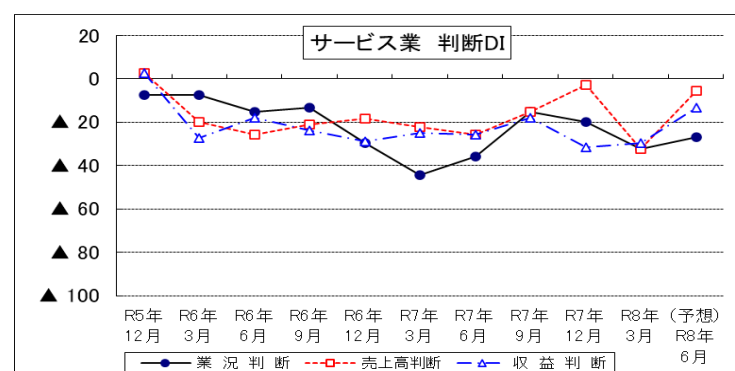
小売業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	▲4	▲20	▲8	▲15	▲11	▲9	▲17	▲17	▲26	▲26	▲31
売上高判断	10	▲16	▲10	▲9	▲4	▲13	▲26	▲11	▲2	▲15	▲15
収益判断	2	▲18	▲12	▲20	▲15	▲13	▲37	▲23	▲4	▲17	▲22

【サービス業】

サービス業の業況判断DIは▲32ポイントとなり、前回調査(▲20)から後退した。売上高判断は大きく後退、収益判断はわずかに改善したものの依然として大幅なマイナス水準で推移しており、厳しい収益環境が続いている。

中分類別でみると、旅館およびその他の宿泊所(▲43→▲57)で後退がみられた。インバウンド需要が限定的であることに加え、地元客や観光客の動きも弱く、悪化が見られた。自動車整備分野では受注は比較的安定しているものの、原材料の高止まりにより、収益性には厳しさが残る状況である。また、人手不足を背景に十分な稼働ができない事業者も見られ、供給面における制約も課題となっている。

全体として、節約志向の影響により、嗜好性の高いサービスを中心に需要の低下がうかがえる結果であった。



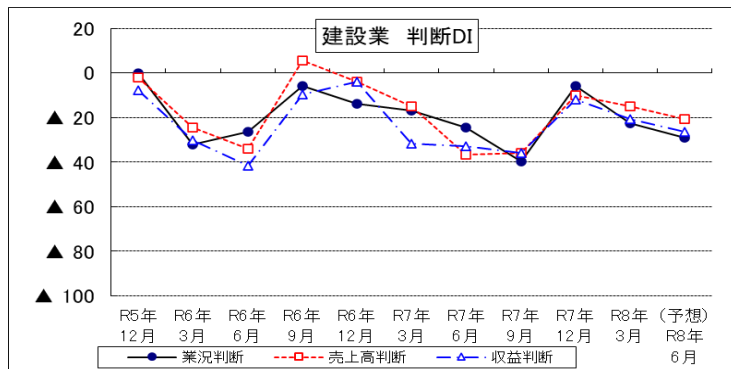
サービス業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	▲8	▲8	▲15	▲13	▲30	▲44	▲36	▲15	▲20	▲32	▲27
売上高判断	3	▲20	▲26	▲21	▲18	▲22	▲26	▲15	▲3	▲32	▲5
収益判断	3	▲28	▲18	▲24	▲29	▲25	▲26	▲18	▲31	▲30	▲14

【建設業】

建設業の業況判断DIは▲23ポイントとなり、前回調査(▲6)から後退した。売上高判断および収益判断もともに後退しており、受注環境の厳しさがうかがえる。

中分類別にみると、総合工事業(▲23→▲28)、職別工事業(±0→▲54)、設備工事業(44→40)いずれも後退しており、特に職別工事業では大幅に悪化した。公共工事の減少や住宅投資の慎重化など建築価格高騰や金利上昇による影響で、元請・下請ともに厳しい状況がうかがえる。一方、リフォームや設備更新といったストック型の需要は底堅く、設備工事では比較的安定した動きが続いている。

全体として、新規案件の減少が地元下請企業を中心に業況を押し下げている。

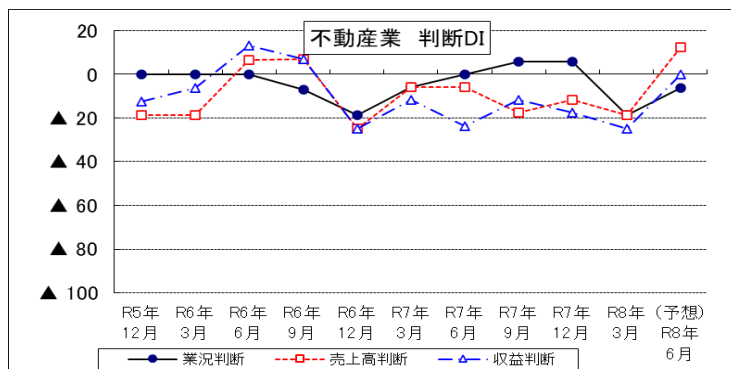


建設業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	0	▲32	▲26	▲6	▲14	▲17	▲24	▲40	▲6	▲23	▲29
売上高判断	▲2	▲25	▲34	6	▲4	▲15	▲37	▲36	▲10	▲15	▲21
収益判断	▲8	▲30	▲42	▲10	▲4	▲31	▲33	▲36	▲12	▲21	▲26

【不動産業】

不動産業の業況判断DIは▲19と4期ぶりにマイナスに転じた。売上高判断及び収益判断もともに後退しており、物価や金利上昇への警戒心から、需要の低下がうかがえる。

中分類でみると、賃貸分野(±0→±0)で横ばいで推移する一方、仲介分野(▲20→±0)では大きく後退するなど、分野ごとばらつきが見られる。成約までの期間の長期化や在庫滞留が増加する中、新規仕入に慎重な姿勢が強まっている。また価格の調整により分譲地の販売も一部進んでいるものの、販売単価低下により収益環境は厳しさを増している。地区により需要に違いはあるものの、新築案件や住み替えの低下を通じ、業況厳しい事業者が多く見られた。



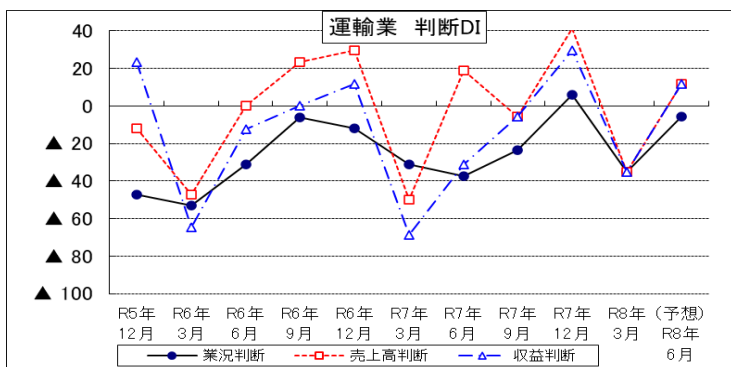
不動産業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	0	0	0	▲7	▲19	▲6	0	6	6	▲19	▲6
売上高判断	▲19	▲19	7	7	▲25	▲6	▲6	▲18	▲12	▲19	13
収益判断	▲13	▲6	13	7	▲25	▲12	▲24	▲12	▲18	▲25	0

【運輸業】

運輸業の業況判断DIは▲35ポイントとなり、前回調査(+6)から大きく後退した。売上高判断および収益判断もそれぞれ大きく後退しており、物流量の減少が大きく影響する結果となった。

分野別でみると、荷物分野では、建設や製造関係の低迷を背景に、輸送需要の減少し、業況が厳しいという事業者が多く見られた。旅客分野では観光需要の弱さや団体利用の減少の影響など受注が減少傾向であった。一方で、需要の減少に伴い、人手不足感には緩和が見られるものの、原油価格高騰などの影響から、収益環境は厳しさが増している。

全体的に地域経済の停滞がモノ・ヒトの移動の減少として表れ、収益環境の厳しさがうかがえる結果であった。



運輸業	R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況判断	▲47	▲53	▲31	▲6	▲12	▲31	▲38	▲24	6	▲35	▲6
売上高判断	▲12	▲47	0	24	29	▲50	19	▲6	41	▲35	12
収益判断	24	▲65	▲13	0	12	▲69	▲31	▲6	29	▲35	12

◆◆◆特別調査◆◆◆

～中小企業経営者のライフデザイン～

問1 10年後の自社の経営展望について及び社長の年齢階層について

(単位：先・%)

		全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
経営展望	1.事業拡大	58	22.7%	18	27.3%	5	23.8%	8	17.8%	4	10.8%	11	20.8%	7	43.8%	5	29.4%
	2.事業維持・横ばい	120	47.1%	33	50.0%	9	42.9%	18	40.0%	22	59.5%	29	54.7%	5	31.3%	4	23.5%
	3.事業縮小	23	9.0%	2	3.0%	2	9.5%	9	20.0%	3	8.1%	3	5.7%	1	6.3%	3	17.6%
	4.廃業・事業譲渡予定	18	7.1%	5	7.6%	2	9.5%	2	4.4%	3	8.1%	2	3.8%	3	18.8%	1	5.9%
	5.わからない	36	14.1%	8	12.1%	3	14.3%	8	17.8%	5	13.5%	8	15.1%	0	0.0%	4	23.5%
	合 計	255	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%
年齢階層	6.20歳代、30歳代	8	3.1%	4	6.0%	1	4.8%	2	4.4%	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	7.40歳代	36	14.1%	7	10.4%	3	14.3%	3	6.7%	4	10.8%	11	20.8%	3	18.8%	5	29.4%
	8.50歳代	74	28.9%	21	31.3%	4	19.0%	13	28.9%	10	27.0%	17	32.1%	4	25.0%	5	29.4%
	9.60歳代	79	30.9%	19	28.4%	9	42.9%	14	31.1%	8	21.6%	19	35.8%	6	37.5%	4	23.5%
	10.70歳代以上	59	23.0%	16	23.9%	4	19.0%	13	28.9%	14	37.8%	6	11.3%	3	18.8%	3	17.6%
	合 計	256	100.0%	67	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%

10年後の経営展望については、社長の年齢構成が60代以上が過半を占めていることもあり、「2.維持・横ばい」の回答割合が最も多く、慎重な見方の事業者が多いことがうかがえる結果であった。次に「1.事業拡大」とする回答が多くなっており、比較的若年層での回答結果が予想される。また「5.わからない」とする回答も一定数みられ、後継者問題や将来の不透明感を懸念する影響が考えられる。全体として、経営者の高齢化が進む中、成長志向より現状維持や事業整理を志向する傾向が強まっていることがうかがえる。

問2 経営者として現役を続けたいと考える年齢、ライフイベントをどう考えているか

(単位：先・%)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.60歳未満	4	1.6%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.8%	1	6.3%	0	0.0%
2.60～64歳	15	5.9%	1	1.5%	3	14.3%	1	2.2%	2	5.4%	5	9.4%	2	12.5%	1	5.9%
3.65～69歳	37	14.5%	10	15.2%	5	23.8%	6	13.3%	6	16.2%	7	13.2%	1	6.3%	2	11.8%
4.70歳～74歳	31	12.2%	5	7.6%	2	9.5%	5	11.1%	5	13.5%	7	13.2%	5	31.3%	2	11.8%
5.75～79歳	20	7.8%	4	6.1%	2	9.5%	6	13.3%	4	10.8%	1	1.9%	2	12.5%	1	5.9%
6.80歳以上	3	1.2%	1	1.5%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
7.健康が続く限り生涯現役	45	17.6%	9	13.6%	5	23.8%	12	26.7%	8	21.6%	4	7.5%	4	25.0%	3	17.6%
8.後継者に託せるようになるまで	73	28.6%	28	42.4%	1	4.8%	8	17.8%	8	21.6%	22	41.5%	0	0.0%	6	35.3%
9.生活資金の見通しがつくまで	14	5.5%	3	4.5%	2	9.5%	4	8.9%	1	2.7%	4	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
10.全く考えていない	13	5.1%	4	6.1%	1	4.8%	2	4.4%	3	8.1%	0	0.0%	1	6.3%	2	11.8%
合 計	255	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%

現役継続の意向については、年齢で区切る回答よりも「8.後継者に託せるようになるまで」の回答が最多となり、引退時期を明確に定めない傾向が見られる。また「7.健康が続く限り生涯現役」とする回答も多く、経営継続の判断が個人の状態に大きく依存している実態がうかがえる。年齢別では70歳前後まで続ける意向が主流であり、引退時期は高齢年齢が多数を占めている。全体として後継者問題や個人事情が引退判断に強く影響しており、計画的な事業承継の重要性がうかがえる結果であった。

問3 経営を引退後の生活資金の状況はどう考えているか

(単位：先・%)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.貯蓄・資産がすでに十分である	28	11.2%	4	6.1%	2	9.5%	4	9.3%	5	13.9%	9	17.0%	3	21.4%	1	5.9%
2.会社からの退職金が見込める	16	6.4%	6	9.1%	1	4.8%	1	2.3%	0	0.0%	6	11.3%	2	14.3%	0	0.0%
3.年金・保険が見込める	27	10.8%	7	10.6%	2	9.5%	5	11.6%	3	8.3%	6	11.3%	1	7.1%	3	17.6%
4.何とかなる	50	20.0%	12	18.2%	7	33.3%	6	14.0%	8	22.2%	10	18.9%	3	21.4%	4	23.5%
5.貯蓄資産が十分でない	40	16.0%	12	18.2%	2	9.5%	10	23.3%	7	19.4%	5	9.4%	2	14.3%	2	11.8%
6.会社からの退職金が見込めない	4	1.6%	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
7.年金・保険が見込めない	2	0.8%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%
8.なんとなく不安である	38	15.2%	9	13.6%	2	9.5%	10	23.3%	5	13.9%	7	13.2%	1	7.1%	4	23.5%
9.まだ考えていない	41	16.4%	13	19.7%	4	19.0%	7	16.3%	5	13.9%	8	15.1%	1	7.1%	3	17.6%
10.引退しない	4	1.6%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.6%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	250	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	43	100.0%	36	100.0%	53	100.0%	14	100.0%	17	100.0%

引退後の生活資金については、「4.何とかなる」とする回答が最も多いものの、回答1～3の安定的な見通しを持つ層は限定的にとどまっている。一方で、「5.貯蓄資産が十分でない」、「8.なんとなく不安である」といった回答も一定数見られ、将来に対する不安感もみられる。また「10.考えていない」とする回答も多く、具体的な準備が進んでいない実態もうかがえる。全体として、引退後の生活資金に対する見通しは不透明な経営者が多く、準備状況にはばらつきが見られる結果であった。

問4 社長個人はどのような資産運用・管理を行っているか

(単位：先・%)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.預貯金(円貨)	155	62.5%	39	60.0%	12	57.1%	31	70.5%	21	58.3%	32	62.7%	9	64.3%	11	64.7%
2.外貨預金	3	1.2%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%
3.債券(国債・社債等)	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	2	3.9%	1	7.1%	0	0.0%
4.投資信託	64	25.8%	11	16.9%	5	23.8%	15	34.1%	9	25.0%	16	31.4%	4	28.6%	4	23.5%
5.株式	41	16.5%	8	12.3%	3	14.3%	8	18.2%	6	16.7%	11	21.6%	3	21.4%	2	11.8%
6.不動産	37	14.9%	10	15.4%	1	4.8%	4	9.1%	7	19.4%	7	13.7%	6	42.9%	2	11.8%
7.個人年金保険	63	25.4%	19	29.2%	4	19.0%	11	25.0%	6	16.7%	14	27.5%	3	21.4%	6	35.3%
8.共済等その他の保険商品	31	12.5%	8	12.3%	2	9.5%	7	15.9%	5	13.9%	7	13.7%	0	0.0%	2	11.8%
9.仮想通貨	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
10.何もしていない	43	17.3%	12	18.5%	6	28.6%	6	13.6%	7	19.4%	8	15.7%	1	7.1%	3	17.6%
合 計	442	248先	108	65先	33	21先	83	44先	61	36先	100	51先	27	14先	30	17先

社長個人の資産管理については、「1.預貯金(円貨)」が6割超の回答で最も多く、安全性を重視した運用が中心となっている。一方で「4.投資信託」、「7.個人年金」など中長期的な資産形成を意識した運用や、「5.株式」、「6.不動産」投資も一定程度見られ、預貯金を除いて資産運用の取組についてはばらつきが見られる。全体として、安全性を重視しつつも一部で分散投資の動きが見られるが、運用手法は比較的保守的な傾向がうかがえる結果であった。

問5 2026年の賃上げについてどのように考えているか

(単位：先・%)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.0%以上2%未満	52	20.6%	12	17.9%	4	19.0%	4	8.9%	9	25.0%	14	26.4%	2	15.4%	7	41.2%
2.2%以上4%未満	56	22.2%	22	32.8%	4	19.0%	7	15.6%	2	5.6%	17	32.1%	2	15.4%	2	11.8%
3.4%以上6%未満	13	5.2%	8	11.9%	0	0.0%	1	2.2%	2	5.6%	0	0.0%	1	7.7%	1	5.9%
4.6%以上	10	4.0%	2	3.0%	2	9.5%	3	6.7%	2	5.6%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%
5.引き上げに見合う価格転嫁できていない	24	9.5%	7	10.4%	2	9.5%	4	8.9%	6	16.7%	2	3.8%	0	0.0%	3	17.6%
6.同業、同地域内の他社が上げていない	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7.今後の業績見通しが不透明	39	15.5%	6	9.0%	3	14.3%	9	20.0%	5	13.9%	10	18.9%	4	30.8%	2	11.8%
8.売上の低迷や伸び悩み	12	4.8%	3	4.5%	0	0.0%	3	6.7%	2	5.6%	3	5.7%	0	0.0%	1	5.9%
9.これまでに引上げ済み	19	7.5%	4	6.0%	1	4.8%	6	13.3%	2	5.6%	4	7.5%	1	7.7%	1	5.9%
10.従業員がいない	25	9.9%	3	4.5%	5	23.8%	7	15.6%	5	13.9%	3	5.7%	2	15.4%	0	0.0%
合 計	252	100.0%	67	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	36	100.0%	53	100.0%	13	100.0%	17	100.0%

2026年の賃上げについては、「1.2%未満」、「2.2～4%未満」の回答割合が多く、小幅な引き上げを検討する企業が多数を占める結果であった。一方で「5.引き上げに見合う価格転嫁できていない」、「7.業績の見通しが不透明」といった理由から賃上げに慎重な姿勢も多く見られる。すでに賃上げを実施した企業も一定数あるが、全体としてはコスト負担とのバランスを見極めながら対応する傾向が強く見られる。総じて賃上げの必要性を認識しつつも、収益環境の制約から限定的な引き上げにとどまっている状況がうかがえる結果であった。

設備投資と借入の動向

(資料1)

(1)設備状況判断DI

	全産業	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	運輸業
前回調査	▲ 16	▲ 16	▲ 8	▲ 15	▲ 14	▲ 20	▲ 35
今回調査	▲ 8	▲ 8	▲ 2	▲ 11	0	▲ 16	▲ 18
(次回予想)	(▲ 8)	(▲ 11)	(4)	(▲ 9)	(0)	(▲ 16)	(▲ 29)

(2)設備投資実績(1～3月)

(単位: %)

	全産業		製造業		建設業		小売業		卸売業		サービス業		運輸業	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
事業用土地・建物	2.2	4.2	6.2	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.0	11.8	0.0	0.0
機械・設備の新・増設	6.1	5.1	7.7	5.9	5.3	4.8	—	—	5.6	2.9	8.0	9.8	11.8	5.9
機械・設備の更改	6.9	8.0	3.1	11.8	21.1	0.0	—	—	8.3	14.7	12.0	7.8	5.9	11.8
事務機器	8.7	8.9	9.2	7.4	5.3	9.5	9.1	8.7	2.8	5.9	14.0	13.7	5.9	5.9
車 輛	7.8	8.0	1.5	4.4	10.5	9.5	9.1	6.5	2.8	0.0	10.0	9.8	29.4	35.3
その他	0.9	0.4	3.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実施せず	77.9	73.4	76.9	75.0	73.7	81.0	88.6	82.6	86.1	79.4	72.0	62.7	58.8	52.9

(3)設備投資の予定(4～6月)

	全産業		製造業		建設業		小売業		卸売業		サービス業		運輸業	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
事業用土地・建物	3.0	2.2	3.1	2.9	0.0	5.0	2.3	2.3	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	0.0
機械・設備の新・増設	7.4	5.7	9.2	7.4	10.0	5.0	—	—	5.6	0.0	10.0	14.0	12.5	0.0
機械・設備の更改	10.4	6.6	15.4	8.8	20.0	5.0	—	—	11.1	12.5	12.0	8.0	0.0	0.0
事務機器	6.1	7.0	9.2	4.4	5.0	5.0	9.1	11.6	0.0	0.0	4.0	12.0	6.3	6.3
車 輛	10.0	8.3	6.2	5.9	10.0	10.0	6.8	4.7	2.8	0.0	12.0	12.0	43.8	31.3
その他	0.9	0.9	1.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実施予定なし	73.2	77.3	70.8	76.5	70.0	80.0	86.4	83.7	83.3	87.5	66.0	68.0	50.0	68.8

(4)借入動向

	全産業		製造業		建設業		小売業		卸売業		サービス業		運輸業		不動産業	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
借入した	22.6	21.2	18.2	20.6	9.1	23.8	23.9	23.9	18.9	11.4	28.3	25.5	29.4	17.6	37.5	23.5
借入予定あり	19.1	16.2	16.4	19.1	31.8	14.3	15.2	10.9	8.6	5.9	17.0	19.6	35.3	12.5	37.5	35.3

原材料・仕入実績と販売・請負価格実績

(資料2)

R08年3月期 景気動向調査 原材料・仕入価格実績と販売・請負価格実績

		製造業	(うち食品製造業)	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	運輸業	全産業	非製造業
原材料・仕入 価格実績	上昇	58.2	75.0	54.5	54.3	62.2	58.5	25.0	52.9	55.4	54.5
	下降	1.5	0.0	0.0	4.3	0.0	1.9	0.0	23.5	3.1	3.7
DI		57	75	55	50	62	57	25	29	52	51

		製造業	(うち食品製造業)	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	運輸業	全産業	非製造業
販売・請負 価格実績	上昇	16.7	8.3	31.8	39.1	27.0	18.9	12.5	23.5	24.1	26.7
	下降	7.6	8.3	9.1	4.3	5.4	18.9	18.8	5.9	9.7	10.5
DI		9	0	23	35	22	0	▲ 6	18	14	16

経営上の問題点と重点施策(上位3項目)

<経営上の問題点>

業種	順位	(前回)	項 目	比率
製造業	1位	(1位)	売上の停滞・減少	52.2%
	2位	(2位)	原材料高	46.2%
	3位	(3位)	人件費の増加	32.8%
卸売業	1位	(1位)	売上の停滞・減少	54.5%
	2位	(2位)	同業者間の競争の激化	40.9%
	3位	(2位)	利幅の縮小	22.7%
	3位	(2位)	仕入先からの値上げ要請	22.7%
小売業	1位	(1位)	売上の停滞・減少	60.8%
	2位	(3位)	人件費の増加	36.9%
	3位	(2位)	利幅の縮小	34.7%
サービス業	1位	(1位)	売上の停滞・減少	56.7%
	2位	(1位)	材料価格の上昇	40.5%
	3位	-	利幅の縮小	24.3%
建設業	1位	(2位)	売上の停滞・減少	49.0%
	2位	(3位)	人手不足	43.3%
	2位	(1位)	材料価格の上昇	43.3%
不動産業	1位	(1位)	売上の停滞・減少	31.2%
	2位	-	同業者間の競争の激化	25.0%
	2位	(2位)	利幅の縮小	25.0%
	2位	-	商品物件の高騰	25.0%
運輸業	1位	(1位)	材料価格の上昇	70.5%
	2位	(3位)	人件費の増加	64.7%
	3位	(1位)	人手不足	41.1%

<当面の重点経営課題>

順位	(前回)	項 目	比率
1位	(1位)	販路を広げる	59.7%
2位	(2位)	経費を節減する	44.7%
3位	(3位)	人材を確保する	34.3%
1位	(1位)	経費を節減する	45.4%
2位	(2位)	販路を広げる	36.3%
3位	-	人材を確保する	22.7%
1位	(1位)	経費を節減する	67.3%
2位	(2位)	品揃えを改善する	26.0%
2位	(3位)	売れ筋商品を取扱う	26.0%
2位	(3位)	人材を確保する	26.0%
1位	(1位)	経費を節減する	62.1%
2位	(2位)	販路を広げる	40.5%
3位	-	労働条件を改善する	18.9%
1位	(1位)	人材を確保する	49.0%
2位	-	販路を広げる	45.2%
3位	(2位)	経費を節減する	41.5%
3位	(3位)	技術力を高める	41.5%
1位	(1位)	情報力を強化する	37.5%
2位	(2位)	販路を広げる	31.2%
3位	(3位)	経費を節減する	25.0%
3位	-	不動産の有効活用を図る	25.0%
1位	(1位)	人材を確保する	64.7%
2位	(2位)	経費を節減する	52.9%
3位	(3位)	労働条件を改善する	47.0%

業種別主要DIの推移

(資料3)

製造業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	22.1	14.5	11.1	11.4	21.4	18.3	20.6	16.9	25.0	19.4	21.2
	悪い	-45.6	-52.2	-61.1	-45.7	-40.0	-54.9	-45.6	-40.8	-42.6	-43.3	-34.8
	DI	▲ 24	▲ 38	▲ 50	▲ 34	▲ 19	▲ 37	▲ 25	▲ 24	▲ 18	▲ 24	▲ 14
売上高 判断	増加	33.8	21.7	26.4	30.0	38.0	19.7	26.1	33.8	29.4	20.9	31.3
	減少	-32.4	-49.3	-43.1	-38.6	-28.2	-46.5	-46.4	-19.7	-29.4	-47.8	-29.9
	DI	1	▲ 28	▲ 17	▲ 9	10	▲ 27	▲ 20	14	0	▲ 27	1
収益 判断	増加	27.9	17.4	25.0	17.1	25.4	23.9	23.5	25.4	25.0	23.9	26.9
	減少	-35.3	-47.8	-47.2	-44.3	-28.2	-47.9	-47.1	-28.2	-32.4	-46.3	-31.3
	DI	▲ 7	▲ 30	▲ 22	▲ 27	▲ 3	▲ 24	▲ 24	▲ 3	▲ 7	▲ 22	▲ 4
原材料価格 判断	上昇	57.4	53.6	66.7	65.7	59.2	54.9	54.4	50.7	60.3	58.2	49.3
	下降	0.0	-4.3	-1.4	0.0	-4.2	-4.2	-2.9	-4.2	-1.5	-1.5	-3.0
	DI	57	49	65	66	55	51	51	46	59	57	46
在庫 判断	過剰	11.9	14.5	13.9	14.3	15.5	11.4	11.6	9.9	11.8	14.9	9.0
	不足	-6.0	-1.4	-2.8	-1.4	-1.4	-10.0	-7.2	-4.2	-5.9	-4.5	-9.0
	DI	6	13	11	13	14	1	4	6	6	10	0
資金繰り 判断	楽	5.9	7.2	6.9	5.7	7.0	8.5	1.4	5.6	2.9	7.5	6.0
	苦しい	-29.4	-30.4	-34.7	-32.9	-26.8	-36.6	-30.4	-29.6	-27.9	-29.9	-29.9
	DI	▲ 24	▲ 23	▲ 28	▲ 27	▲ 20	▲ 28	▲ 29	▲ 24	▲ 25	▲ 22	▲ 24
人手 判断	過剰	4.4	10.1	15.5	10.0	14.1	15.5	14.5	14.1	11.8	10.4	10.4
	不足	-38.2	-34.8	-28.2	-31.4	-36.6	-35.2	-29.0	-35.2	-41.2	-37.3	-35.8
	DI	▲ 34	▲ 25	▲ 13	▲ 21	▲ 23	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 29	▲ 27	▲ 25
設備状況 判断	過剰	8.8	15.9	15.3	5.8	8.5	15.7	13.4	11.6	7.4	10.6	10.6
	不足	-20.6	-20.3	-20.8	-20.3	-19.7	-20.0	-17.9	-20.3	-23.5	-18.2	-21.2
	DI	▲ 12	▲ 4	▲ 6	▲ 14	▲ 11	▲ 4	▲ 4	▲ 9	▲ 16	▲ 8	▲ 11
前年比 売上高	増加	32.4	21.7	31.0	28.6	25.4	21.1	29.0	31.0	26.5	31.3	
	減少	-41.2	-52.2	-42.3	-44.3	-43.7	-52.1	-40.6	-33.8	-41.2	-37.3	
	DI	▲ 9	▲ 30	▲ 11	▲ 16	▲ 18	▲ 31	▲ 12	▲ 3	▲ 15	▲ 6	
前年比 収益	増加	25.0	20.3	23.9	25.7	19.7	19.7	23.2	29.6	25.0	25.4	
	減少	-44.1	-58.0	-46.5	-42.9	-50.7	-52.1	-46.4	-32.4	-42.6	-40.3	
	DI	▲ 19	▲ 38	▲ 23	▲ 17	▲ 31	▲ 32	▲ 23	▲ 3	▲ 18	▲ 15	

卸売業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	26.1	8.3	13.0	13.0	21.7	9.1	4.5	22.7	15.0	9.1	14.3
	悪い	-30.4	-50.0	-39.1	-47.8	-26.1	-40.9	-31.8	-27.3	-30.0	-31.8	-28.6
	DI	▲ 4	▲ 42	▲ 26	▲ 35	▲ 4	▲ 32	▲ 27	▲ 5	▲ 15	▲ 23	▲ 14
売上高 判断	増加	26.1	16.7	34.8	21.7	26.1	13.6	27.3	27.3	28.6	18.2	28.6
	減少	-30.4	-54.2	-43.5	-30.4	-21.7	-50.0	-27.3	-27.3	-28.6	-45.5	-23.8
	DI	▲ 4	▲ 38	▲ 9	▲ 9	4	▲ 36	0	0	0	▲ 27	5
収益 判断	増加	17.4	12.5	30.4	13.0	21.7	4.5	18.2	13.6	19.0	13.6	28.6
	減少	-21.7	-45.8	-39.1	-39.1	-26.1	-54.5	-36.4	-22.7	-23.8	-45.5	-23.8
	DI	▲ 4	▲ 33	▲ 9	▲ 26	▲ 4	▲ 50	▲ 18	▲ 9	▲ 5	▲ 32	5
仕入価格 判断	上昇	52.2	41.7	34.8	69.6	65.2	63.6	45.5	63.6	66.7	54.5	66.7
	下降	-13.0	-8.3	-4.3	0.0	0.0	0.0	-9.1	-4.5	-4.8	0.0	0.0
	DI	39	33	30	70	65	64	36	59	62	55	67
在庫 判断	過剰	26.1	12.5	17.4	13.0	17.4	9.1	9.1	0.0	9.5	0.0	0.0
	不足	-4.3	-4.2	0.0	0.0	0.0	-4.5	-9.1	-4.5	-4.8	-4.5	0.0
	DI	22	8	17	13	17	5	0	▲ 5	5	▲ 5	0
資金繰り 判断	楽	13.0	8.3	13.0	8.7	8.7	4.5	4.5	13.6	9.5	4.5	9.5
	苦しい	-8.7	-20.8	-13.0	-13.0	-4.3	-22.7	-27.3	-18.2	-19.0	-27.3	-23.8
	DI	4	▲ 13	0	▲ 4	4	▲ 18	▲ 23	▲ 5	▲ 10	▲ 23	▲ 14
人手 判断	過剰	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.8
	不足	-26.1	-25.0	-8.7	-13.0	-26.1	-22.7	-18.2	-27.3	-23.8	-9.1	-9.5
	DI	▲ 26	▲ 25	▲ 4	▲ 13	▲ 26	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 24	▲ 5	▲ 5
設備状況 判断	過剰	0.0	4.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5
	不足	-4.3	-12.5	-8.7	-13.0	-13.0	0.0	-4.5	-4.5	-14.3	-4.5	-4.5
	DI	▲ 4	▲ 8	▲ 4	▲ 13	▲ 13	0	▲ 5	▲ 5	▲ 14	0	0
前年比 売上高	増加	47.8	20.8	26.1	17.4	34.8	31.8	36.4	22.7	28.6	18.2	
	減少	-30.4	-37.5	-47.8	-52.2	-30.4	-36.4	-22.7	-27.3	-33.3	-27.3	
	DI	17	▲ 17	▲ 22	▲ 35	4	▲ 5	14	▲ 5	▲ 5	▲ 9	
前年比 収益	増加	30.4	12.5	21.7	13.0	30.4	22.7	27.3	22.7	28.6	13.6	
	減少	-26.1	-41.7	-47.8	-47.8	-30.4	-31.8	-22.7	-22.7	-28.6	-36.4	
	DI	4	▲ 29	▲ 26	▲ 35	0	▲ 9	5	0	0	▲ 23	

業種別主要DIの推移

(資料3)

小売業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	22.0	18.0	22.0	21.7	23.4	17.8	17.4	14.9	10.9	8.7	11.1
	悪い	-26.0	-38.0	-30.0	-37.0	-34.0	-26.7	-34.8	-31.9	-37.0	-34.8	-42.2
	DI	▲ 4	▲ 20	▲ 8	▲ 15	▲ 11	▲ 9	▲ 17	▲ 17	▲ 26	▲ 26	▲ 31
売上高 判断	増加	42.0	24.0	28.0	30.4	29.8	28.3	19.6	27.7	30.4	26.1	23.9
	減少	-32.0	-40.0	-38.0	-39.1	-34.0	-41.3	-45.7	-38.3	-32.6	-41.3	-39.1
	DI	10	▲ 16	▲ 10	▲ 9	▲ 4	▲ 13	▲ 26	▲ 11	▲ 2	▲ 15	▲ 15
収益 判断	増加	38.0	20.0	28.0	23.9	23.4	26.1	13.0	17.0	26.1	19.6	17.4
	減少	-36.0	-38.0	-40.0	-43.5	-38.3	-39.1	-50.0	-40.4	-30.4	-37.0	-39.1
	DI	2	▲ 18	▲ 12	▲ 20	▲ 15	▲ 13	▲ 37	▲ 23	▲ 4	▲ 17	▲ 22
仕入価格 判断	上昇	68.0	64.0	68.0	60.9	66.0	73.9	54.3	59.6	58.7	54.3	50.0
	下降	-6.0	-2.0	-6.0	-2.2	0.0	-4.3	-10.9	-4.3	-8.7	-4.3	-6.5
	DI	62	62	62	59	66	70	43	55	50	50	43
在庫 判断	過剰	16.0	8.0	10.0	6.5	6.4	6.5	10.9	6.4	6.5	2.2	4.3
	不足	-12.0	-14.0	-4.0	-10.9	-10.6	-10.9	-8.7	-8.5	-10.9	-4.3	-4.3
	DI	4	▲ 6	6	▲ 4	▲ 4	▲ 4	2	▲ 2	▲ 4	▲ 2	0
資金繰り 判断	楽	10.0	10.0	6.0	6.5	8.5	4.3	8.7	6.4	4.4	2.2	4.3
	苦しい	-16.0	-18.0	-22.0	-21.7	-23.4	-30.4	-30.4	-23.4	-28.9	-30.4	-28.3
	DI	▲ 6	▲ 8	▲ 16	▲ 15	▲ 15	▲ 26	▲ 22	▲ 17	▲ 24	▲ 28	▲ 24
人手 判断	過剰	6.0	6.0	6.0	4.3	6.4	4.3	6.5	2.1	2.2	6.5	4.3
	不足	-40.0	-40.0	-28.0	-30.4	-27.7	-26.1	-26.1	-34.0	-28.3	-21.7	-26.1
	DI	▲ 34	▲ 34	▲ 22	▲ 26	▲ 21	▲ 22	▲ 20	▲ 32	▲ 26	▲ 15	▲ 22
設備状況 判断	過剰	6.0	6.0	2.0	4.4	2.1	4.3	4.3	6.4	2.2	0.0	0.0
	不足	-22.0	-16.0	-18.0	-20.0	-19.1	-13.0	-19.6	-14.9	-17.4	-10.9	-8.7
	DI	▲ 16	▲ 10	▲ 16	▲ 16	▲ 17	▲ 9	▲ 15	▲ 9	▲ 15	▲ 11	▲ 9
前年比 売上高	増加	32.0	36.0	38.0	32.6	29.8	31.1	28.3	21.3	21.7	26.1	
	減少	-44.0	-22.0	-32.0	-37.0	-34.0	-24.4	-45.7	-31.9	-47.8	-41.3	
	DI	▲ 12	14	6	▲ 4	▲ 4	7	▲ 17	▲ 11	▲ 26	▲ 15	
前年比 収益	増加	26.0	26.0	30.0	28.3	23.4	24.4	13.0	10.6	17.4	15.2	
	減少	-50.0	-32.0	-34.0	-41.3	-36.2	-26.7	-50.0	-40.4	-47.8	-45.7	
	DI	▲ 24	▲ 6	▲ 4	▲ 13	▲ 13	▲ 2	▲ 37	▲ 30	▲ 30	▲ 30	

サービス業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	22.5	20.0	17.9	13.2	10.8	8.3	7.7	12.8	11.4	10.8	8.1
	悪い	-30.0	-27.5	-33.3	-26.3	-40.5	-52.8	-43.6	-28.2	-31.4	-43.2	-35.1
	DI	▲ 8	▲ 8	▲ 15	▲ 13	▲ 30	▲ 44	▲ 36	▲ 15	▲ 20	▲ 32	▲ 27
売上高 判断	増加	30.0	15.0	20.5	21.1	18.4	25.0	23.1	15.4	22.9	16.2	21.6
	減少	-27.5	-35.0	-46.2	-42.1	-36.8	-47.2	-48.7	-30.8	-25.7	-48.6	-27.0
	DI	3	▲ 20	▲ 26	▲ 21	▲ 18	▲ 22	▲ 26	▲ 15	▲ 3	▲ 32	▲ 5
収益 判断	増加	30.0	12.5	20.5	15.8	10.5	22.2	20.5	12.8	11.4	13.5	13.5
	減少	-27.5	-40.0	-38.5	-39.5	-39.5	-47.2	-46.2	-30.8	-42.9	-43.2	-27.0
	DI	3	▲ 28	▲ 18	▲ 24	▲ 29	▲ 25	▲ 26	▲ 18	▲ 31	▲ 30	▲ 14
材料価格 判断	上昇	55.0	57.5	66.7	71.1	73.7	72.2	71.8	64.1	80.0	62.2	59.5
	下降	-5.0	-7.5	-2.6	-2.6	0.0	-2.8	-2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	DI	50	50	64	68	74	69	69	64	80	62	59
在庫 判断	過剰											
	不足											
	DI											
資金繰り 判断	楽	7.5	7.5	5.1	2.7	5.3	2.8	5.1	7.7	8.6	2.7	0.0
	苦しい	-27.5	-32.5	-23.1	-32.4	-31.6	-27.8	-30.8	-28.2	-22.9	-21.6	-24.3
	DI	▲ 20	▲ 25	▲ 18	▲ 30	▲ 26	▲ 25	▲ 26	▲ 21	▲ 14	▲ 19	▲ 24
人手 判断	過剰	7.5	10.0	7.7	5.6	8.1	5.7	13.2	10.5	8.8	5.6	8.3
	不足	-42.5	-42.5	-41.0	-44.4	-35.1	-37.1	-34.2	-26.3	-44.1	-30.6	-33.3
	DI	▲ 35	▲ 33	▲ 33	▲ 39	▲ 27	▲ 31	▲ 21	▲ 16	▲ 35	▲ 25	▲ 25
設備状況 判断	過剰	2.5	5.0	5.3	5.3	5.3	5.6	2.6	7.7	2.9	2.7	2.7
	不足	-17.5	-20.0	-26.3	-26.3	-31.6	-19.4	-17.9	-20.5	-22.9	-18.9	-18.9
	DI	▲ 15	▲ 15	▲ 21	▲ 21	▲ 26	▲ 14	▲ 15	▲ 13	▲ 20	▲ 16	▲ 16
前年比 売上高	増加	35.0	27.5	23.1	21.1	21.1	22.2	23.1	20.5	20.0	18.9	
	減少	-40.0	-22.5	-38.5	-44.7	-47.4	-47.2	-53.8	-33.3	-37.1	-37.8	
	DI	▲ 5	5	▲ 15	▲ 24	▲ 26	▲ 25	▲ 31	▲ 13	▲ 17	▲ 19	
前年比 収益	増加	32.5	25.0	17.9	10.5	10.5	19.4	17.9	20.5	11.4	18.9	
	減少	-40.0	-27.5	-33.3	-47.4	-47.4	-47.2	-53.8	-35.9	-42.9	-37.8	
	DI	▲ 8	▲ 3	▲ 15	▲ 37	▲ 37	▲ 28	▲ 36	▲ 15	▲ 31	▲ 19	

業種別主要DIの推移

(資料3)

建設業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	26.4	18.9	9.4	19.2	23.5	18.5	20.4	15.1	25.5	17.0	15.4
	悪い	-26.4	-50.9	-35.8	-25.0	-37.3	-35.2	-44.9	-54.7	-31.4	-39.6	-44.2
	DI	0	▲ 32	▲ 26	▲ 6	▲ 14	▲ 17	▲ 24	▲ 40	▲ 6	▲ 23	▲ 29
売上高 判断	増加	24.5	22.6	15.1	36.5	31.4	25.9	18.4	15.1	25.5	28.3	17.0
	減少	-26.4	-47.2	-49.1	-30.8	-35.3	-40.7	-55.1	-50.9	-35.3	-43.4	-37.7
	DI	▲ 2	▲ 25	▲ 34	6	▲ 4	▲ 15	▲ 37	▲ 36	▲ 10	▲ 15	▲ 21
収益 判断	増加	30.2	18.9	13.2	21.2	29.4	18.5	18.4	11.3	19.6	22.6	15.1
	減少	-37.7	-49.1	-54.7	-30.8	-33.3	-50.0	-51.0	-47.2	-31.4	-43.4	-41.5
	DI	▲ 8	▲ 30	▲ 42	▲ 10	▲ 4	▲ 31	▲ 33	▲ 36	▲ 12	▲ 21	▲ 26
材料価格 判断	上昇	73.6	66.0	71.7	73.1	64.7	72.2	71.4	52.8	70.6	58.5	58.5
	下降	0.0	0.0	0.0	-1.9	0.0	-1.9	0.0	-5.7	0.0	-1.9	-1.9
	DI	74	66	72	71	65	70	71	47	71	57	57
在庫 判断	過剰	7.5	11.5	1.9	2.0	2.0	3.8	6.3	5.8	4.1	3.8	9.6
	不足	-7.5	-1.9	-5.8	-7.8	-2.0	-9.6	-6.3	-9.6	-6.1	-5.8	-3.8
	DI	0	10	▲ 4	▲ 6	0	▲ 6	0	▲ 4	▲ 2	▲ 2	6
資金繰り 判断	楽	9.4	13.2	15.1	13.5	5.9	7.5	10.2	5.7	9.8	5.7	3.8
	苦しい	-15.1	-15.1	-20.8	-21.2	-15.7	-17.0	-18.4	-26.4	-13.7	-20.8	-22.6
	DI	▲ 6	▲ 2	▲ 6	▲ 8	▲ 10	▲ 9	▲ 8	▲ 21	▲ 4	▲ 15	▲ 19
人手 判断	過剰	7.5	9.6	5.7	1.9	3.9	3.8	8.2	7.5	2.0	5.7	5.7
	不足	-56.6	-44.2	-47.2	-48.1	-47.1	-50.9	-46.9	-32.1	-41.2	-35.8	-34.0
	DI	▲ 49	▲ 35	▲ 42	▲ 46	▲ 43	▲ 47	▲ 39	▲ 25	▲ 39	▲ 30	▲ 28
設備状況 判断	過剰	1.9	1.9	3.8	3.8	3.9	3.7	6.1	3.8	5.9	9.4	13.5
	不足	-7.5	-13.2	-9.4	-9.6	-7.8	-3.7	-10.2	-13.5	-13.7	-11.3	-9.6
	DI	▲ 6	▲ 11	▲ 6	▲ 6	▲ 4	0	▲ 4	▲ 10	▲ 8	▲ 2	4
前年比 売上高	増加	22.6	17.0	11.3	21.2	31.4	22.2	28.6	18.9	25.5	28.3	
	減少	-39.6	-58.5	-56.6	-42.3	-37.3	-48.1	-53.1	-52.8	-43.1	-43.4	
	DI	▲ 17	▲ 42	▲ 45	▲ 21	▲ 6	▲ 26	▲ 24	▲ 34	▲ 18	▲ 15	
前年比 収益	増加	22.6	20.8	11.3	17.3	25.5	20.4	26.5	18.9	25.5	24.5	
	減少	-39.6	-58.5	-50.9	-36.5	-43.1	-50.0	-51.0	-50.9	-47.1	-49.1	
	DI	▲ 17	▲ 38	▲ 40	▲ 19	▲ 18	▲ 30	▲ 24	▲ 32	▲ 22	▲ 25	

不動産業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	12.5	31.3	26.7	21.4	18.8	23.5	17.6	17.6	17.6	0.0	12.5
	悪い	-12.5	-31.3	-26.7	-28.6	-37.5	-29.4	-17.6	-11.8	-11.8	-18.8	-18.8
	DI	0	0	0	▲ 7	▲ 19	▲ 6	0	6	6	▲ 19	▲ 6
売上高 判断	増加	18.8	25.0	26.7	28.6	12.5	17.6	17.6	17.6	17.6	12.5	31.3
	減少	-37.5	-43.8	-20.0	-21.4	-37.5	-23.5	-23.5	-35.3	-29.4	-31.3	-18.8
	DI	▲ 19	▲ 19	7	7	▲ 25	▲ 6	▲ 6	▲ 18	▲ 12	▲ 19	13
収益 判断	増加	12.5	25.0	26.7	28.6	6.3	11.8	5.9	17.6	11.8	6.3	18.8
	減少	-25.0	-31.3	-13.3	-21.4	-31.3	-23.5	-29.4	-29.4	-29.4	-31.3	-18.8
	DI	▲ 13	▲ 6	13	7	▲ 25	▲ 12	▲ 24	▲ 12	▲ 18	▲ 25	0
仕入価格 判断	上昇	43.8	43.8	26.7	21.4	25.0	35.3	29.4	17.6	17.6	25.0	25.0
	下降	-6.3	0.0	0.0	-14.3	-6.3	-11.8	-11.8	0.0	-5.9	0.0	0.0
	DI	38	44	27	7	19	24	18	18	12	25	25
在庫 判断	過剰	12.5	18.8	6.7	0.0	18.8	0.0	5.9	29.4	17.6	12.5	12.5
	不足	-18.8	-25.0	-26.7	-35.7	-18.8	-29.4	-5.9	0.0	-17.6	-6.3	-6.3
	DI	▲ 6	▲ 6	▲ 20	▲ 36	0	▲ 29	0	29	0	6	6
資金繰り 判断	楽	0.0	18.8	6.7	7.1	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	苦しい	-18.8	-31.3	-20.0	-35.7	-31.3	-35.3	-35.3	-17.6	-29.4	-18.8	-18.8
	DI	▲ 19	▲ 13	▲ 13	▲ 29	▲ 31	▲ 29	▲ 35	▲ 18	▲ 29	▲ 19	▲ 19
人手 判断	過剰	0.0	0.0	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	不足	-18.8	-18.8	-20.0	-28.6	-18.8	-17.6	-29.4	-23.5	-23.5	-25.0	-25.0
	DI	▲ 19	▲ 19	▲ 13	▲ 29	▲ 13	▲ 18	▲ 24	▲ 18	▲ 24	▲ 25	▲ 25
設備状況 判断	過剰											
	不足											
	DI											
前年比 売上高	増加	18.8	31.3	13.3	35.7	12.5	23.5	23.5	17.6	23.5	12.5	
	減少	-25.0	-37.5	-40.0	-21.4	-31.3	-23.5	-29.4	-29.4	-23.5	-18.8	
	DI	▲ 6	▲ 6	▲ 27	14	▲ 19	0	▲ 6	▲ 12	0	▲ 6	
前年比 収益	増加	18.8	25.0	13.3	35.7	12.5	17.6	17.6	17.6	23.5	12.5	
	減少	-31.3	-37.5	-40.0	-14.3	-31.3	-29.4	-23.5	-29.4	-23.5	-18.8	
	DI	▲ 13	▲ 13	▲ 27	21	▲ 19	▲ 12	▲ 6	▲ 12	0	▲ 6	

業種別主要DIの推移

(資料3)

運輸業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	5.9	0.0	18.8	31.3	23.5	18.8	0.0	5.9	29.4	11.8	17.6
	悪い	-52.9	-52.9	-50.0	-37.5	-35.3	-50.0	-37.5	-29.4	-23.5	-47.1	-23.5
	DI	▲ 47	▲ 53	▲ 31	▲ 6	▲ 12	▲ 31	▲ 38	▲ 24	6	▲ 35	▲ 6
売上高 判断	増加	29.4	5.9	31.3	41.2	58.8	0.0	50.0	29.4	47.1	11.8	29.4
	減少	-41.2	-52.9	-31.3	-17.6	-29.4	-50.0	-31.3	-35.3	-5.9	-47.1	-17.6
	DI	▲ 12	▲ 47	0	24	29	▲ 50	19	▲ 6	41	▲ 35	12
収益 判断	増加	23.5	5.9	18.8	23.5	41.2	0.0	18.8	29.4	35.3	11.8	29.4
	減少	0.0	-70.6	-31.3	-23.5	-29.4	-68.8	-50.0	-35.3	-5.9	-47.1	-17.6
	DI	24	▲ 65	▲ 13	0	12	▲ 69	▲ 31	▲ 6	29	▲ 35	12
材料価格 判断	上昇	64.7	58.8	62.5	58.8	52.9	87.5	75.0	58.8	52.9	52.9	35.3
	下降	-5.9	-5.9	-6.3	0.0	0.0	0.0	-6.3	-5.9	-29.4	-23.5	-17.6
	DI	59	53	56	59	53	88	69	53	24	29	18
在庫 判断	過剰											
	不足											
	DI											
資金繰り 判断	楽	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	苦しい	-41.2	-58.8	-43.8	-41.2	-41.2	-43.8	-31.3	-41.2	-29.4	-47.1	-35.3
	DI	▲ 35	▲ 59	▲ 44	▲ 41	▲ 41	▲ 44	▲ 31	▲ 41	▲ 29	▲ 47	▲ 35
人手 判断	過剰	0.0	5.9	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	不足	-47.1	-41.2	-56.3	-58.8	-82.4	-68.8	-56.3	-58.8	-70.6	-41.2	-68.8
	DI	▲ 47	▲ 35	▲ 50	▲ 59	▲ 82	▲ 56	▲ 56	▲ 59	▲ 71	▲ 35	▲ 69
設備状況 判断	過剰	11.8	29.4	6.3	11.8	0.0	12.5	6.3	5.9	0.0	5.9	0.0
	不足	-11.8	-23.5	-37.5	-35.3	-35.3	-31.3	-25.0	-23.5	-35.3	-23.5	-29.4
	DI	0	6	▲ 31	▲ 24	▲ 35	▲ 19	▲ 19	▲ 18	▲ 35	▲ 18	▲ 29
前年比 売上高	増加	17.6	35.3	31.3	47.1	41.2	31.3	50.0	35.3	35.3	29.4	
	減少	-41.2	-41.2	-43.8	-29.4	-23.5	-18.8	-31.3	-23.5	-23.5	-17.6	
	DI	▲ 24	▲ 6	▲ 13	18	18	13	19	12	12	12	
前年比 収益	増加	17.6	35.3	25.0	41.2	41.2	37.5	37.5	29.4	17.6	11.8	
	減少	-52.9	-47.1	-37.5	-29.4	-35.3	-31.3	-25.0	-23.5	-11.8	-11.8	
	DI	▲ 35	▲ 12	▲ 13	12	6	6	13	6	6	0	

全産業		R5年 12月	R6年 3月	R6年 6月	R6年 9月	R6年 12月	R7年 3月	R7年 6月	R7年 9月	R7年 12月	R8年 3月	予想 R8年6月
業況 判断	良い	21.7	16.4	15.3	17.0	20.7	16.5	15.2	15.4	19.7	13.2	15.0
	悪い	-33.0	-44.2	-41.8	-35.9	-36.8	-42.5	-39.7	-36.5	-33.5	-38.8	-35.8
	DI	▲ 11	▲ 28	▲ 26	▲ 19	▲ 16	▲ 26	▲ 25	▲ 21	▲ 14	▲ 26	▲ 21
売上高 判断	増加	31.1	20.1	24.6	30.0	31.2	21.4	24.0	24.4	28.2	21.3	25.3
	減少	-31.1	-45.4	-41.8	-34.6	-31.9	-43.5	-44.2	-33.5	-29.0	-44.6	-30.7
	DI	0	▲ 25	▲ 17	▲ 5	▲ 1	▲ 22	▲ 20	▲ 9	▲ 1	▲ 23	▲ 5
収益 判断	増加	28.5	16.7	22.8	19.6	23.2	19.1	18.3	18.0	21.6	18.6	20.6
	減少	-30.7	-45.4	-42.5	-37.7	-32.7	-46.9	-46.3	-34.6	-30.6	-42.6	-31.9
	DI	▲ 2	▲ 29	▲ 20	▲ 18	▲ 10	▲ 28	▲ 28	▲ 17	▲ 9	▲ 24	▲ 11
仕入・原材料 価格判断	上昇	61.4	57.2	62.7	64.6	61.6	65.6	59.1	54.1	62.0	55.4	51.8
	下降	-3.7	-3.7	-2.6	-1.9	-1.5	-3.4	-5.1	-3.8	-4.7	-3.1	-3.5
	DI	58	54	60	63	60	62	54	50	57	52	48
在庫 判断	過剰	13.4	12.3	9.9	8.3	10.6	7.2	9.4	8.6	9.0	7.4	7.4
	不足	-8.6	-6.6	-5.2	-7.4	-4.8	-11.1	-7.4	-6.2	-8.0	-4.9	-5.4
	DI	5	6	5	1	6	▲ 4	2	2	1	2	2
資金繰り 判断	楽	7.9	9.3	8.2	6.9	6.1	5.7	5.0	6.0	5.5	4.3	3.9
	苦しい	-22.1	-26.4	-25.7	-27.4	-24.0	-29.5	-28.3	-26.7	-24.0	-27.1	-26.5
	DI	▲ 14	▲ 17	▲ 18	▲ 20	▲ 18	▲ 24	▲ 23	▲ 21	▲ 19	▲ 23	▲ 23
人手 判断	過剰	4.9	7.5	8.6	4.7	7.3	7.3	8.9	7.5	5.1	6.6	6.3
	不足	-41.2	-37.3	-33.3	-36.4	-37.8	-36.9	-33.5	-33.2	-38.6	-30.4	-32.5
	DI	▲ 36	▲ 30	▲ 25	▲ 32	▲ 31	▲ 30	▲ 25	▲ 26	▲ 33	▲ 24	▲ 26
設備状況 判断	過剰	5.2	9.1	7.1	4.9	4.5	7.8	6.7	6.9	4.2	6.2	6.7
	不足	-15.5	-17.4	-18.7	-19.3	-19.4	-13.9	-15.9	-16.7	-20.2	-14.5	-15.0
	DI	▲ 10	▲ 8	▲ 12	▲ 14	▲ 15	▲ 6	▲ 9	▲ 10	▲ 16	▲ 8	▲ 8
前年比 売上高	増加	30.3	25.7	25.8	27.3	27.8	24.9	29.5	24.1	25.1	25.6	
	減少	-39.3	-40.5	-43.1	-41.2	-38.0	-40.6	-43.0	-35.7	-39.2	-36.0	
	DI	▲ 9	▲ 15	▲ 17	▲ 14	▲ 10	▲ 16	▲ 14	▲ 12	▲ 14	▲ 10	
前年比 収益	増加	25.5	22.7	21.0	22.7	22.1	21.8	22.1	21.4	21.6	19.8	
	減少	-41.9	-45.4	-42.3	-40.0	-42.2	-42.1	-44.2	-36.5	-40.0	-39.1	
	DI	▲ 16	▲ 23	▲ 21	▲ 17	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 15	▲ 18	▲ 19	

特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」

(資料4)

問1 10年後の自社の経営展望について及び社長の年齢階層について

(単位：先・％)

		全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
経営 展 望	1.事業拡大	58	22.7%	18	27.3%	5	23.8%	8	17.8%	4	10.8%	11	20.8%	7	43.8%	5	29.4%
	2.事業維持・横ばい	120	47.1%	33	50.0%	9	42.9%	18	40.0%	22	59.5%	29	54.7%	5	31.3%	4	23.5%
	3.事業縮小	23	9.0%	2	3.0%	2	9.5%	9	20.0%	3	8.1%	3	5.7%	1	6.3%	3	17.6%
	4.廃業・事業譲渡予定	18	7.1%	5	7.6%	2	9.5%	2	4.4%	3	8.1%	2	3.8%	3	18.8%	1	5.9%
	5.わからない	36	14.1%	8	12.1%	3	14.3%	8	17.8%	5	13.5%	8	15.1%	0	0.0%	4	23.5%
	合 計	255	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%
年 齢 階 層	6.20歳代、30歳代	8	3.1%	4	6.0%	1	4.8%	2	4.4%	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	7.40歳代	36	14.1%	7	10.4%	3	14.3%	3	6.7%	4	10.8%	11	20.8%	3	18.8%	5	29.4%
	8.50歳代	74	28.9%	21	31.3%	4	19.0%	13	28.9%	10	27.0%	17	32.1%	4	25.0%	5	29.4%
	9.60歳代	79	30.9%	19	28.4%	9	42.9%	14	31.1%	8	21.6%	19	35.8%	6	37.5%	4	23.5%
	10.70歳代以上	59	23.0%	16	23.9%	4	19.0%	13	28.9%	14	37.8%	6	11.3%	3	18.8%	3	17.6%
	合 計	256	100.0%	67	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%

問2 経営者として現役を続けたいと考える年齢、ライフイベントをどう考えているか

(単位：先・％)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.60歳未満	4	1.6%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.8%	1	6.3%	0	0.0%
2.60～64歳	15	5.9%	1	1.5%	3	14.3%	1	2.2%	2	5.4%	5	9.4%	2	12.5%	1	5.9%
3.65～69歳	37	14.5%	10	15.2%	5	23.8%	6	13.3%	6	16.2%	7	13.2%	1	6.3%	2	11.8%
4.70歳～74歳	31	12.2%	5	7.6%	2	9.5%	5	11.1%	5	13.5%	7	13.2%	5	31.3%	2	11.8%
5.75～79歳	20	7.8%	4	6.1%	2	9.5%	6	13.3%	4	10.8%	1	1.9%	2	12.5%	1	5.9%
6.80歳以上	3	1.2%	1	1.5%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
7.健康が続く限り生涯現役	45	17.6%	9	13.6%	5	23.8%	12	26.7%	8	21.6%	4	7.5%	4	25.0%	3	17.6%
8.後継者に託せるようになるまで	73	28.6%	28	42.4%	1	4.8%	8	17.8%	8	21.6%	22	41.5%	0	0.0%	6	35.3%
9.生活資金の見通しがつくまで	14	5.5%	3	4.5%	2	9.5%	4	8.9%	1	2.7%	4	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
10.全く考えていない	13	5.1%	4	6.1%	1	4.8%	2	4.4%	3	8.1%	0	0.0%	1	6.3%	2	11.8%
合 計	255	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	53	100.0%	16	100.0%	17	100.0%

問3 経営を引退後の生活資金の状況はどう考えているか

(単位：先・％)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.貯蓄・資産がすでに十分である	28	11.2%	4	6.1%	2	9.5%	4	9.3%	5	13.9%	9	17.0%	3	21.4%	1	5.9%
2.会社からの退職金が見込める	16	6.4%	6	9.1%	1	4.8%	1	2.3%	0	0.0%	6	11.3%	2	14.3%	0	0.0%
3.年金・保険が見込める	27	10.8%	7	10.6%	2	9.5%	5	11.6%	3	8.3%	6	11.3%	1	7.1%	3	17.6%
4.何とかなる	50	20.0%	12	18.2%	7	33.3%	6	14.0%	8	22.2%	10	18.9%	3	21.4%	4	23.5%
5.貯蓄資産が十分でない	40	16.0%	12	18.2%	2	9.5%	10	23.3%	7	19.4%	5	9.4%	2	14.3%	2	11.8%
6.会社からの退職金が見込めない	4	1.6%	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
7.年金・保険が見込めない	2	0.8%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%
8.なんとなく不安である	38	15.2%	9	13.6%	2	9.5%	10	23.3%	5	13.9%	7	13.2%	1	7.1%	4	23.5%
9.まだ考えていない	41	16.4%	13	19.7%	4	19.0%	7	16.3%	5	13.9%	8	15.1%	1	7.1%	3	17.6%
10.引退しない	4	1.6%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.6%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	250	100.0%	66	100.0%	21	100.0%	43	100.0%	36	100.0%	53	100.0%	14	100.0%	17	100.0%

問4 社長個人はどのような資産運用・管理を行っているか

(単位：先・％)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.預貯金（円貨）	155	62.5%	39	60.0%	12	57.1%	31	70.5%	21	58.3%	32	62.7%	9	64.3%	11	64.7%
2.外貨預金	3	1.2%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%
3.債券（国債・社債等）	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	2	3.9%	1	7.1%	0	0.0%
4.投資信託	64	25.8%	11	16.9%	5	23.8%	15	34.1%	9	25.0%	16	31.4%	4	28.6%	4	23.5%
5.株式	41	16.5%	8	12.3%	3	14.3%	8	18.2%	6	16.7%	11	21.6%	3	21.4%	2	11.8%
6.不動産	37	14.9%	10	15.4%	1	4.8%	4	9.1%	7	19.4%	7	13.7%	6	42.9%	2	11.8%
7.個人年金保険	63	25.4%	19	29.2%	4	19.0%	11	25.0%	6	16.7%	14	27.5%	3	21.4%	6	35.3%
8.共済等その他の保険商品	31	12.5%	8	12.3%	2	9.5%	7	15.9%	5	13.9%	7	13.7%	0	0.0%	2	11.8%
9.仮想通貨	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
10.何もしていない	43	17.3%	12	18.5%	6	28.6%	6	13.6%	7	19.4%	8	15.7%	1	7.1%	3	17.6%
合 計	442	248先	108	65先	33	21先	83	44先	61	36先	100	51先	27	14先	30	17先

問5 2026年の賃上げについてどのように考えているか

(単位：先・％)

	全産業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		運輸業	
1.0%以上2%未満	52	20.6%	12	17.9%	4	19.0%	4	8.9%	9	25.0%	14	26.4%	2	15.4%	7	41.2%
2.2%以上4%未満	56	22.2%	22	32.8%	4	19.0%	7	15.6%	2	5.6%	17	32.1%	2	15.4%	2	11.8%
3.4%以上6%未満	13	5.2%	8	11.9%	0	0.0%	1	2.2%	2	5.6%	0	0.0%	1	7.7%	1	5.9%
4.6%以上	10	4.0%	2	3.0%	2	9.5%	3	6.7%	2	5.6%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%
5.引き上げに見合う価格転嫁できていない	24	9.5%	7	10.4%	2	9.5%	4	8.9%	6	16.7%	2	3.8%	0	0.0%	3	17.6%
6.同業、同地域内の他社が上げていない	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7.今後の業績見通しが不透明	39	15.5%	6	9.0%	3	14.3%	9	20.0%	5	13.9%	10	18.9%	4	30.8%	2	11.8%
8.売上の低迷や伸び悩み	12	4.8%	3	4.5%	0	0.0%	3	6.7%	2	5.6%	3	5.7%	0	0.0%	1	5.9%
9.これまでに引上げ済み	19	7.5%	4	6.0%	1	4.8%	6	13.3%	2	5.6%	4	7.5%	1	7.7%	1	5.9%
10.従業員がいない	25	9.9%	3	4.5%	5	23.8%	7	15.6%	5	13.9%	3	5.7%	2	15.4%	0	0.0%
合 計	252	100.0%	67	100.0%	21	100.0%	45	100.0%	36	100.0%	53	100.0%	13	100.0%	17	100.0%